1968
9月号
No.178
編集兼発行
鮫川村
総務課
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

9月の人口と世帯
人口 7,158(−8)
男 3,574(0)
女 3,584(−8)
世帯数1,241(0)

木村知事鮫川村を訪問

四月選挙後初めての東白川地方視察

八月十四日本県知事木村守江氏は、石田村長の要請により青生野養蚕協業組合の集団桑園を視察しました。

前夜矢祭ホテルに宿泊した知事は、十四日早朝から矢祭山公園、山村振興事業などを視察した後、塙町の統合中学校を視察し、勿来棚倉線を上り、渡瀬を経て青生野に向われました。

十一時すぎ現地に到着した知事は、直ちに青生野集団桑園の頂上に立ち、活用された国有林三二ヘクタールの大桑園を展望し、石田村長からこの事業の経過や現在の経営状況などを聴取され、立派に成功した山系開発の実績をよろこばれました。

この日夜来の雨も止み、阿武隈の山なみがはるかに展望できる好日よりで、石田村長から山系開発の遠大な計画について詳細に説明があり共感を得た様子でした。

次いで桑園内の壮蚕飼育所で一二〇〇グラム掃立の初秋蚕が上簇の真最中なので、組合員の熱心な作業ぶりを視察して激励され、この日村と農協共催で開かれた「青生野の農構事業を見る会」に参加していた約百人の集会に臨席されました。ここで知事はマイクを握り「数年前この地に来た時は、国有林を伐採して開墾を初めたばかりであった。骨はおれるだろうがしっかりやって貰いたい。といったことを覚えている。

今日事業が立派に出来上つて事業が運営されているのを見て非常によろこばしい。何事も努力が大切である。北海道などでも地域環境のわるい開拓地ほど成功している。

阿武隈山系は本県にとつて未開の宝庫だ。これからも希望をもつて、お互に力を合せ、大いに努力してもらいたい」

とあいさつされ、養蚕協業組合長の大竹保さんとは親しくこれからの運営について対話されました。

その後、主要地方道勿来棚倉線、県道赤坂東野塙線、鎌田棚倉線などを視察して帰庁されました。



青生野養蚕協業組合の集団桑園で、石田村長から協業養蚕の現状と阿武隈山系地域の開発構想をきく木村守江知事。郡内町村長佐川県議の顔も見えます。



朝日山のふもと720m標高の国有林を切り開いた32ヘクタールの大桑園には木村知事も感嘆され、大竹保組合長とよろこびの対話を交わされました。

十月一日 住宅統計調査

住宅水準の現状とその推移を明らかにし、住宅関係の施策を進めるための基礎資料を得る目的で「住宅統計調査」が実施されます。

この調査は、昭和二十三年から、国の重要な統計調査（指定統計）の一つとして五年毎に実施されている調査で本年は五回目にあたります。

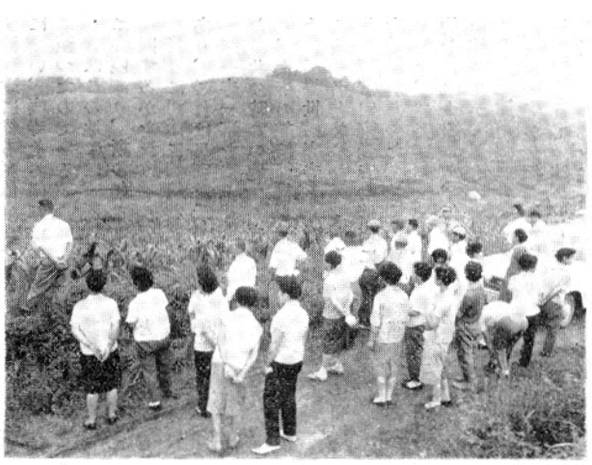
この調査は国勢調査のように全地域を調査するものではなく、指定された一部の地域が調査の対象となります。

本村では次の地域が指定され、十月一日現在により、当地域内のすべての住宅及び住宅以外の建物のうち居住世帯のあるものについて、次のように調査が行われます。

◇調査区と調査員
二一九調査区
新宿、道少田地区
調査員 鈴木市悠
二二〇調査区
橋久保、大房、中内、大根屋敷地区
調査員 森 亨

◇調査の事項
住宅の建て方、種類、所有関係、面積、構造等

調査事項は、統計をつくるためにだけ使用され、税金やその他の目的に使用することは固く禁じられておりますから、ありのままをご記入下さるようお願いいたします。



防衛庁から

募集概要

種別＼区分	学歴	受付締切	1次試験	2次試験	入校(隊)
防衛大学校学生	高卒	11.15	11.30〜12.1	1.7〜1.9	4月上旬
航空学生	〃	10.31	11.10	12.3〜7	3月下旬
自衛隊生徒	中卒	11.30	12.8	12.22	〃
看護学生	高卒	10.31	11.17	12.15	4月上旬
婦人自衛官(一般)	短大卒	11.20	12.1	12.22	〃
〃陸士(〃)	高卒	9.30	10.13	／	1月、5月
2等陸、海空士	中卒	常時受付	指定する日	／	指定する日

※学歴は44.3卒業見込み可

日本の国土は美しい。この日本が、いつまでも平和であるようにとの願いをこめて、「若い力」の自衛隊は、明るい環境のもと、はつらつとして訓練に励んでいます。いま防衛庁では前表のとおり募集しています。くわしいことは役場総務課または自衛隊郡山事務所（電話二—二九三〇）お気軽にどうぞ

写真は農業構造改善事業を見る会（青生野和牛協業）

待望の〝社会学級〟開講

鮫川村公民館では今年度から新らしい試みとして、六十才以上の高令者の学習の場として、社会学級を開設しました。

学級生は定員を定めないで募集したところ、一〇六名の申し込みがあり、その後ぞくぞく追加され、現在では一四〇名の大学級となりました。

学習の内容は、健康管理に関するものと、趣味や娯楽を含めた一般教養に関するもの又高令者の社会的な役割等をテーマとして一年に五回位開講する予定になつています。

開講式は八月二十六日午前十時より、鮫川公民館に於て開催。出席四十四名で、石田村長の「村政について」と題する約一時間にわたる講演をききました。そのあとお話しあいの時間を持ち活発な質問や、要望等があつて、大変意欲的な学習ぶりでした。

最後に学級運営の打ち合わせを行い、学級役員を選んで午後三時三十分散会しました。

社会学級役員

会長	水野　芳光
副会長	前田　精
〃	北条　シモ
書記	鈴木　英男
会計	高坂　佳材

休猟区にキジの放鳥

休猟区に設定されたわが村の地域に、県林業事務所ではキジの増殖を図るため、毎年三〇羽づつ放鳥することになりました。

今年は去る八月二十七日、赤坂東野字官代地内、芦ノ草地内と渡瀬字田尻地内にそれぞれ一〇羽づつ放鳥しました。

このキジは人工的に増殖されたもので、成育状況を調べるために、足にアルミ管をつけて目印としています。

村の仏教文化と各所の廃寺(三)

国島義広

奥州一の宮八槻大明神配下寺院として、天保十三年十月書上の記録に依れば、

東野に東正院（無住）内ヶ竜
中野に竜宝院（無住）不明
渡瀬に量覚院（跡）不明
〃　大善院（無住）越虫と伝う
蓮行（拂針僧）中山か福原辺と伝う。
富田に覚泉（拂僧）湯川地蔵堂前庵住（福島県史より）

「註、無住とは当時住職なき寺院を云う」等の旧寺又は寺跡あり、何れも宗派開廃不明である。然し当時の宗門寺はない。「註、宗門寺とは今の戸籍を取扱う役場の役割をする格式ある寺院にして、拂僧は施物を乞う乞食坊」又官沢入口に導進屋敷と称する所あり、又大塩の大楽勝男氏宅の奥に導進房跡と云う地名ありこれ等皆寺につながるものである。

然るに今は、鮫川の地に只三ヶ寺を残し廃寺其の儘にて再建もなく荒れ果てた姿は何によるかを考えるに、明治から二十年前、今より百二十年前の天保八年の飢饉にて、餓死又は逃走により当時の人家は約六分の一に減り、寒村と化し、後年復興の時に当り、明治新政に依る廃仏棄却の災に会い、廃寺その儘にて今日に至つたのである。

昔はこの地には一部落ごとに寺院あり、斯の如きは何に起因するかを疑う。

終りに西山に鐘搗堂の地名あり、これは足利尊氏の代に一国一寺一塔を造る律令が出た。共の時この地に一寺を造り、大寺の梵鐘の楼を造つたそれが後世に廃寺となり、其の地の名となつたのである。

其の頃富田東光寺の境内にも大梵鐘があつた。鋳型の銘によれば、建長四年××とあり約七百二十余年前、鎌倉末期の鋳造にかゝるものであるがこの大梵鐘が天明の飢饉の年無住の山寺から何者かに盗まれ破壊されて、鋳金として運んだ跡を今なお盗人畑と呼んで地名となつている。（青戸学男氏の裏の畑である。）梵鐘の鋳型は富田小学校新築の際、地下約一米の堤の下から偶然の発掘により出土したもので、筆者もこれを見ている其の鋳型の破片は、時の富田小学校長、松本清寿氏が参考として保存されてある筈である。

（未完）

おめでた

七月
大沢　関根　繁父源治
八月
巡ヶ作　古舘　誠父誠二
大平　関根　則子〃勝義
新宿　白井　昭子〃三代吉
新宿　白井　和男〃三代吉

おくやみ

八月
彦次郎　鷲野谷源寿　51　世帯主　敏男
彦次郎　松本　一恵　74　啓

昭和五〇年を目ざして

村長　石田卯子八

むかしはよく一〇〇年の大計などといつて、高遠の理想を画いたものですが、現在は社会の変転が目まぐるしく、数年先のことも容易に予想が困難な時代になりました。

こんど村では県から農業振興計画を策定する村に指定され、鮫川村農業振興対策協議会を作つて検討を続けておりますが、ここでは一応の目標を昭和五〇年において作業を進めております。

これは既に県が県勢振興計画を立てており、凡そ郡単位の地域振興計画も出来たので更にその趣旨を推し進め、末端市町村に現地に即した計画を立てさせようというねらいもあるわけです。

わが村ではその趣旨は諒としながらも、計画策定の主体性をあくまでも村自体のものとし、現状分析と将来への展望、企画を進めることにしました。

村の未来像を考える場合に一番重要なことは、この村を構成する人口の問題ですが、その動向と予測は、概ね次のようなことに考えられています。

総人口

昭和三〇年	八二五六
昭和四〇年	七二九一
昭和五〇年	六三七六

昭和四〇年の実数と昭和五〇年の予測数の比率は八七・四で一〇年間に一二・六%の減少が見込まれます。

更に生産年令人口の比率は八八・五で、就業人口は八一・六となつています。

その内訳をみると

第一次産業	七〇・六
第二次産業	一二八・三
第三次産業	一二二・七

となつており、第一次産業の農業就業人口が著しい減少をみせております。

農業振興計画の目的は、経済の高度成長によつて生ずるヒズミを是正し、農業者の所得水準を高めて、究極的にはその生活水準を、他産業者と比肩し得る程度に高めることにあることは、いうまでもありません。

それで第一次産業の就業人口を昭和五〇年の予測一八二〇で提え、就業人口一人当りの生産所得が、どのように進められるべきかをみると、次のようになるようです。

昭和四〇年を基点としての伸び率

第一次産業	二五六
第二次産業	一六二
第三次産業	一七二
平均	二三二

この場合、第一次産業の一人当り生産所得実数は昭和四〇年二二四千円、昭和五〇年予測五七五千円で、この程度が他産業なみの一人当り生産所得となりましよう。

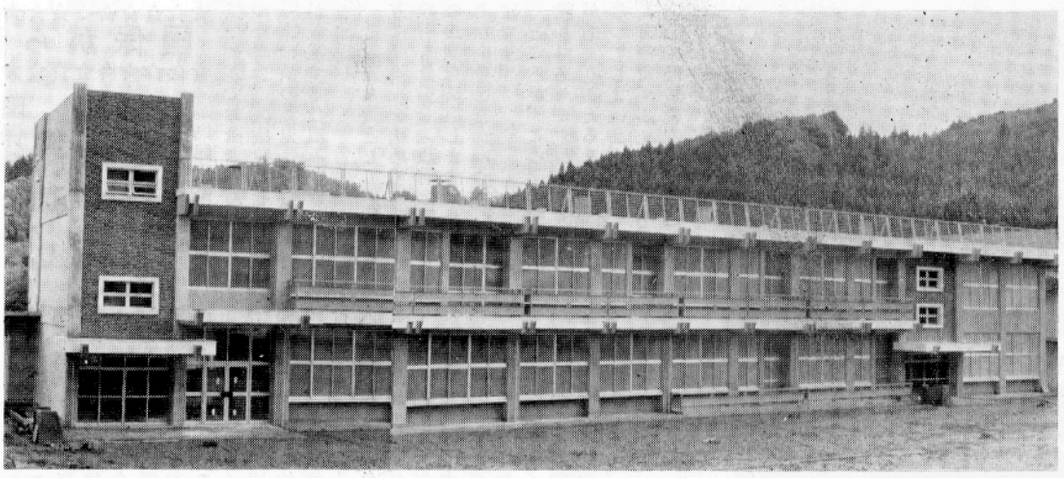
これを実現するための施策と努力がなみ大低のものでないことは当然ですが、先づ思い切つた土地基盤の整備開発が必要であり、農業生産では特に畜産、養蚕特用作物の飛躍的な生産性向上が企図されなければなりません。

またその生活を支えるためには農業者の意欲と協力による農村の生産環境近代化が推進されなければならず、流通金融、農業団体の整備充実が必須の要件となり、優秀な後継者の若いエネルギーが絶えず移入されることが必要であります。



渡瀬小学校に鉄筋新校舎完成

災害から十一ヶ月で再建



昨年十月三日不慮の火災で焼失した渡瀬小学校校舎の再建については、村当局の迅速な処置と、多数村民の協力、県内外の各層より心あたたまる同情が寄せられ、一周年を待たず十一ヶ月目に鉄筋コンクリート構造二階建の美しい新校舎が完成しました。

総工費三千二百万円余。郡山市桑原工務店が工事を担当しました。

このたび事業の完成を祝い九月三日来賓多数を迎え、新校舎屋上で盛大な落成式が行なわれました

落成式に石田村長は「この校舎こそ災厄に屈することなく、力を協せて人類の文化を建設する人々の尊い姿を象徴するものであると述べ、災厄のいましめを心に留めながら、このうるわしき教育の施設が地域と学童の教育のために十二分にその使命を遂することを念願する」と挨拶しました。

新築された校舎は鉄筋コンクリート二階建で、普通教室六、理科室一、音楽室一、予備室一、校長室一、職員室一宿直室一、給食置場一、放送室一、玄関昇降口、便所、廊下その他

合計九八六・〇三一平方米（約三〇〇坪）で内部はプリント合板目スカン貼り、プラスター塗り、外部はダイヤワシン、ミュールコート吹付、床は人造石研出し、外廻りはアルミサッシュの建具が入り見るからに新時代の教育の殿堂にふさわしい近代感があふれております。（写真は完成された渡瀬小学校新校舎）

議会だより

無電灯農家の解消へ

九戸に電気導入事業

第九回臨時会は八月十日に招集され次の三件が上程され、原案どおり認定可決されました。

◉議案第三十二号 鮫川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法改正にともなう条文の変更と保険税率の改正で年々増加してゆく療養給付費をまかなうため、前年度にくらべて約十七％の増加になります。

◉議案第三十三号 昭和四十二年度鮫川村国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について

国保会計の四十二年度決算で歳入三千二百八十二万六百三十四円（前年度二千九百三万九円）、歳出三千百八十八万二千十五円（二千六百九十四万七百八十一円）で、差引残額九十三万八千六百十九円のうち、国保給付費支払準備基金に条例の定めるところにより九十一万三百三十三円を積立て、二万八千二百八十六円を四十三年度歳入に繰越しました。

◉議案第三十四号 昭和四十三年度鮫川村一般会計補正予算（第四号）

県支出金百五万円、受益者分担金百三十五万一千六百八十九円、予備費より十四万八千円の財源で、村内の無電灯農家九戸に電気導入事業費として、二百五十四万八千六百八十九円を支出するもので、これにより村内の無電灯農家はほとんど解消するが、なお約十戸ほどは残ります。

住民の窓 (4)

いよいよ台風シーズンです例年のことながら秋の収獲期を前に農家にとっては一番心配される季節ですが、今年も安心して豊作の秋祭りを迎えられる年でありたいものです今月は現在行っている、し尿処理のことなどについて述べます。

◉**特掃区外でもし尿汲取りの申込みができるか？**

東白川地方衛生処理組合の処理計画は、県が指定している特別清掃区域（本村は新宿道少田、広畑部落）及び学校等の人口を基準にして処理場を設置したので一日間の処理能力は一八klです。それでも初めのうちは比較的申込が少なかったので便宜上特別清掃区域外の申込も取扱ったこともあったが、現在は特掃区域内の申込みだけでも処理できない状態になっています。

それで郡内町村長会では処理場の増設を計画中ですが、教千万円の事業費を要するのでまだ実施の段階にきておりません。従って特掃区域外の汲取りは今のところ希望に添えない実状にあります。

村内特掃区域内の申込みも毎月五十件を越える状態で、いつも申込みに応じきれないので、申込めば直ぐに汲取れるということは到底できませんのでなるべく早目（一～二ケ月前）に申込まれるようお願いします。

◉**食中毒を追放しましょう!!**

九月、十月は食中毒の発生しやすいときです。油断大敵ということがありますが、食べ物には十分注意して下さい

現代日本秀作写真展

このたび全国公民館連合会の主催で、現代日本秀作写真が、左記の日程により巡回展示されることになりました。（本県では、いわき市等五公民館のみ）多数ご鑑賞下さい

一、会場　鮫川村公民館

二、日程　九月十七、十八、十九日の三日間、毎日開館午前九時午后四時閉館

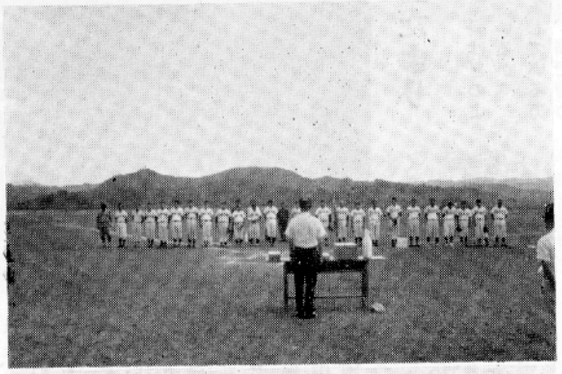
三、内容　「眼眸（まなざし）」秋山庄太郎等二七点、カラー作品の展示もあります

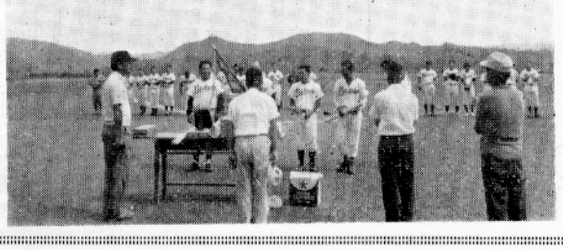
第十二回鮫川村野球大会

鮫川村野球連盟主催、教育委員会、公民館後援による、第十二回鮫川村野球大会が去る七月二十七日、二十八日に行われたが、二十八日はあいにく台風の余波を受け試合は中止になっていたが、決勝戦を八月十八日に持ち越して実施されました

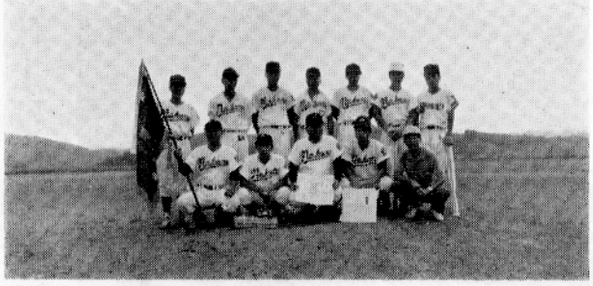
十八日は朝から快晴にめぐまれ、西野役場、中野チーム（高校チームは棄権）によって準決勝、決勝と熱戦を展開。好プレーが見られました。

結局西野チームは中野チームと接戦の末決勝より脱落。中野チームと役場チームの決勝戦になったが、練習不足の役場チームは不調で、中野チームの圧倒的な勝利となりました。





（写真上石田村長より祝辞を受ける選手団下優勝旗の授与）



（写真左三年連続優勝の中野チーム）

★☆☆☆☆☆☆☆★ 国保から ★☆☆☆☆☆☆☆★

国保の正しい使い方 (1)

国民健康保険と医療費

国民健康保険は病気やケガでお医者さんにかかった場合、医療費の七割（満一才未満の乳児は全額）を村が負担する仕組みになっています。

その運営費として、皆さん方に保険税を納めていただき政府も負担し（政府は医療費の四割を負担します）なお足りない分は村が補っているわけです。

ところが、この運営費には限りがありますから、医療費があまりふえるとすぐ赤字になってしまいます。

医療費がふえると、それに応じて保険税をあげることがたてまえになっているので、皆さんに納めていただいている保険税も近年は毎年増額しなければならない状態です。

こういう心配は全国的な問題として、いつも国民健康保険を運営している市町村のなやみとなっているのです。

それで病気は早く見つけ、早く治すことが大切です。治療が早ければ早く治すことができるし、医療費も安くてすむわけです。またそれだけ本人の苦しみも一部負担を少なくなる道理です。

しかし国民健康保険はあなたのための制度ですから病気になったらすぐに保険を利用して早く病気をなおし、健康で明るい生活をおくつて下さい。それがこの制度の目的でもあり、保険運営を健全にする途でもあります。

× × ×





青年学級生徒の勉強会

わが村の青年学級生は、まじめなことでも有名ですが8月16日は高原地農業の勉強会を青生野で開きました。

上は青生野集団桑園で金沢教育次長の話をきく学級生

下は青生野の岡部勝正さん方で水稲のマルチング栽培を渡辺普及員からきく学級生。

この若き後継者たちに栄光あれ！

税だより

国税のうちから

◎相続税のあらまし

相続税は、相続や遺贈によつて財産をもらつたときに、もらつた人にかかる税金ですが、税額は財産の価額の合計から、債務や葬式費用等を差引き、基礎控除の四百万円と八十万円に法定相続人の数をかけた金額との合計額を差し引いた金額にかかります。

また、死亡した人と婚姻期間が十五年以上の配偶者控除があります。

相続税は、相続の日の翌日から六ヶ月以内に申告と納税をすることになつていますが一時に納税できない場合は延納や物納の方法もあります。

◎法人の延納利子税の割合が下がる。

去る八月七日から日銀の公定歩合が、日歩一銭六厘に引き下げられたので、八月七日以降申告期限のくる法人税の延納利子税の割合は、二厘引き下げられ日歩二銭二厘となりました。

◎サラリーマンと税金

所得税は申告納税制度をとつていますが、納税者は一年間の所得を自分で計算し、翌年の二月十六日から三月十五日までに税務署に確定申告をして納税することになつています。

しかし、サラリーマンの場合は、勤務先から、毎月の給料等をもらうたびに、源泉徴収により所得税が天引きされます。そして年末の給料等をもらうときに、原則として年末調整が行なわれ、一年間にその勤務先からもらつた給与額について、源泉で徴収された税額が精算されます。

したがつて、一般のサラリーマンの場合は確定申告の必要はありませんが、給与以外の所得が年間五万円をこえる人や、二ケ所以上から給与をもらつている人は確定申告をしなければなりません。

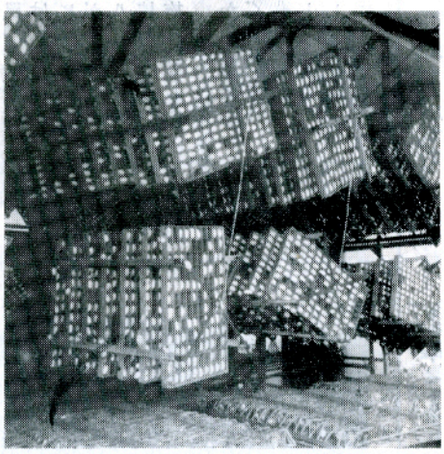
また、災害を受けた場合とか医療費を支払つた場合で一定金額をこえる場合は、確定申告をすれば納めた税金が還付されます。

繭も豊作

繭の相場は比較的安定し、需要も伸びているので養蚕家は毎年多くなつてきました。

昨年村内の収繭量は五二・五〇〇瓩で五、八四一万余円の現金収入がありました。

今年の繭も豊作で目標の収繭量が期待されます。これからは、さらに手間をはぶく協業養蚕に進め集団桑園の設置などで現金収入をふやす道を考えたいものです。



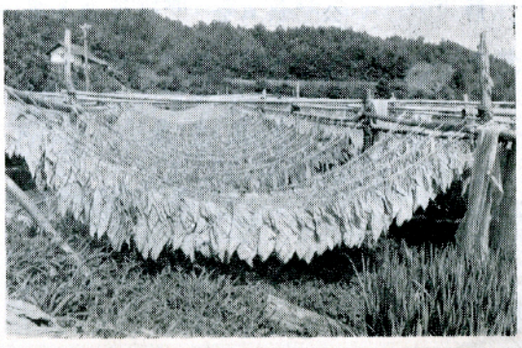
←写真は上族した繭（夏秋春）

葉たばこ最後の仕上げに入る

村内の葉たばこの収納価格は昨年七千四百三十万円で村の重要な現金収入作目になつています。

今年の葉たばこの成育は順調でしたが、乾燥時期に雨が多く、耕作者泣かせでした。葉たばこは乾燥時期の天候勝負といわれています。それでも九月に入つて天候もいくぶん持直してきたので、耕作農家は晴れ間を見ては最後の仕上げに精を出しています。

（写真は葉たばこの乾燥風景）→



国民年金だより

◉国民年金の保険料はどのように運用されているか。

国民年金に加入している方が納めたかけ金と、国でその半額を負担した分を合せて、将来の年金支払のために準備金として積立られています。

積立金の一部は、病院や保育所、児童舘それに国民宿舎など公共の施設をつくるのに特別に融資され、みなさんの福祉の向上においおいに役立つています

わが村でも、村民運動場、母子健康センター、保育所等は国民年金特別融資によつてつくられたものです。

このようにみなさんの国民年金の掛け金は有効に、直接皆さんの役に立つように使われております。

国民年金の保険料はいつも納期内に納めるようお願いします。

◉老令福祉年金と拠出制国民年金の関係

現在老令福祉年金は満七〇才になつて他の年金等を貰つていないかたに支給されていますが、昭和三十六年四月一日から拠出制の国民年金制度が発足したゝめ明治四十四年四月二日（昭和三十六年四月一日現在において五十才未満）以降に生まれたかたは、すべて国民年金に加入して保険料（免除でも可）を納めていないと老令年金、母子年金、障害年金等すべての国民年金が貰えません。老後のしあわせのため、必ず国民年金に加入して下さい。

⊠ 今月の納税 ⊠

▷固定資産税 第二期

▷納期限 9月25日

おくれず、わすれず

納期内に納めましよう。